

# MEIJIMURA

明治村だより Vol.88 2017 Summer



明治村所蔵の建築儀式関連資料 建物に遺されたメッセージ …2  
 ブラジル移民住宅保存修理工事 竣工式典 ……4  
 語り継ぐ建築 ……4  
 夏の催しもの ……5  
 A La Meiji-mura ……6  
 協賛会員 募集案内 ……裏表紙

## 博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>1. 法人会員の種類と会費</b> (各1口あたり、消費税込)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般会員 10万円</li> <li>○ゴールド会員 100万円</li> </ul> <p><b>2. 会費の用途</b><br/>             明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。</p> | <p><b>3. 会員期間</b><br/>             入会日より1年間<br/>             (入会月の翌年当月末日まで)</p> <p><b>4. 会員の特典</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○会員証(記名式)の発行</li> <li>○招待券の贈呈</li> <li>○刊行物等の贈呈</li> <li>○芳名の掲示</li> <li>○法人名の銘板付きベンチの設置<br/>                 (ゴールド会員のみ)</li> </ul> | <p><b>5. 問い合わせ先</b><br/>             公益財団法人明治村 協賛担当<br/>             住所:〒484-0000<br/>             愛知県犬山市字内山1番地<br/>             TEL:0568-67-0314<br/>             E-mail:meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp</p> |
|---|---|---|

協賛会員 (平成29年5月末日現在) 敬称略・五十音順

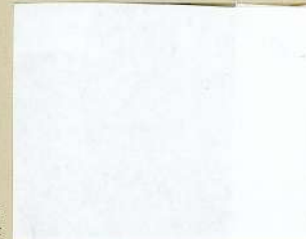
アサヒ飲料株式会社	アサヒビール株式会社	伊藤忠商事株式会社	株式会社魚津社寺工務店
麒麟ビール株式会社	サッポロビール株式会社	中京テレビ放送株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
株式会社日立製作所	株式会社ファミリーマート	株式会社ローソン	

## 明治村所蔵の資料が出張します!

**展覧会名** インベリアル タイムズ  
**会場** 帝国ホテル東京  
**期間** ~2018年1月末日(予定)

フランク・ロイド・ライト生誕150周年を契機として開設されたアーカイブスペースに博物館明治村所蔵の帝国ホテル解体材やライト館新築時のダイレクトメールなどを出品します。

帝国ホテル東京金尾支配人とテーブルカットをする中川館長



**展覧会名** 博物館明治村に見る文明開化と明治建築の魅力  
**会場** 博物館網走監獄  
**期間** 7月6日~12月17日

蝸管蓄音機などの歴史資料とともに、博物館明治村の重要文化財建造物11棟が紹介されます。



蝸管蓄音機

**展覧会名** URUSHI ふしぎ物語-人と漆の12000年史  
**会場** 国立歴史民俗博物館  
**期間** 7月11日~9月3日

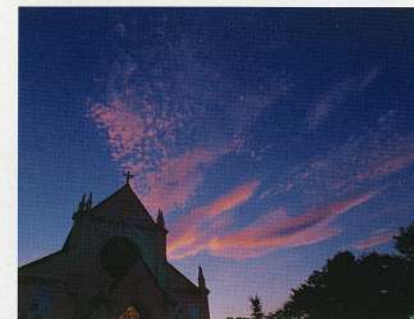
漆で装飾された竹塗蒔絵小椅子と鳳凰蒔絵折畳小椅子を出品します。



竹塗蒔絵小椅子

**催事名** 杉本文楽 女殺油地獄  
**会場** 世田谷パブリックシアター  
**期間** 8月11日~13日

東松家住宅に展示されている本物の油屋で用いられた油桶などが、文楽の舞台を飾ります。



〈表紙〉  
 タイトル 教会の西空  
 撮影者 鎌田 芳郎  
 (平成19年度 明治村写真コンテスト 大賞)

聖ザビエル天主堂  
 建築年 明治23(1890)年

平成29年6月22日発行  
**「明治村だより」第88号(平成29年夏)**

発行 博物館明治村  
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一丁目  
 電話 (0568) 67-0314  
<http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第89号発行のお知らせ  
 発行時期 平成29年9月中旬(予定)  
 申込方法 「明治村だより」第89号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申し込み下さい。

# 建物に遺されたメッセージ

本年2月に西園寺公望別邸「坐漁荘」が重要文化財に指定されたことを記念し、博物館明治村では「たからふる」明治村の重要文化財展」を開催しました。同展では、解体材の保存材や棟札など、普段なかなか目にする事ができない資料を出品し、皆様にご覧いただきました。今回はその中でも棟札など、建築儀式に関する資料を取り上げて紹介いたします。

皆さんは建築儀式と聞いて、何を思い浮かべられるでしょうか。地鎮祭、起工式、上棟（棟上げ）式（建前）、定礎式、竣工式などに、実際に携わられたり、行われているのを目にされた方は少なくないと思います。ここでは特に上棟式で掲げられた棟札や幣串を紹介し、紐解いていきたいと思います。

上棟式は、建築儀式の中では地鎮祭と並んで重要な儀式と位置づけられているもので、建物の骨組みが完成し

棟木を上げ、建物としての形が整う日に行われます。地鎮祭から上棟に至るまでの工事が無事に進んだことへの感謝と、さらに完成に至るまで継続される工事とその建物の末永い無事を祈願するものです。また近年では、工事により近隣に迷惑をかける事もあるため工事関係者だけでなく、周辺の住民の方々をお招きし、謝意を表すことにも重点が置かれています。儀式的形式は、仏式や神式など宗教や地域により異なりますが、多くは、「天の弓」「地の弓」と呼ばれる破魔矢、棟札、そして幣串を祭壇に飾ります。幣串は、関東では幣束とも呼ばれ、上部に幣を差し込めるよう縦に切れ込みがあり（★1）、上から三本、五本、七本の横線が墨で書かれ（★2）、五色の布が飾り付けられました。

棟札は、もともとは棟木の下面に直接施主や大工などの

## 東山梨郡役所



裏

法量 縦850×幅205mm  
釘穴：なし

棟札 (平頭型)

## 棟札

東山梨郡長 鯉淵忠富

東山梨郡書記 岩崎新太郎  
東山梨郡書記 生野友高  
東山梨郡御用掛 中村重光  
筆生 亀田新造

明治十八年七月七日工事着手  
明治十八年八月二十八日上棟

建築御用掛

大工棟梁 西山梨郡三町町 志村三代藏  
赤羽芳造 東八代郡石碓村 小林庄藏  
北巨摩津江村 藤原忠兵衛 西山梨郡常盤町 志村栄吉  
大工棟梁 西山梨郡三町町 志村三代藏  
赤羽芳造 東八代郡石碓村 小林庄藏  
北巨摩津江村 藤原忠兵衛 西山梨郡常盤町 志村栄吉  
鍛冶職 西山梨郡常盤町 志村栄吉  
家根職 同郡代官町 志村栄吉  
左官職 同郡代官町 志村栄吉  
土屋庄藏

石工職 同郡穴山町 土方頭 東山梨郡上方力村 村田九兵衛  
運送頭 東山梨郡上方力村 武井仙石工門  
土工職 同郡穴山町 土方頭 東山梨郡上方力村 村田九兵衛  
運送頭 東山梨郡上方力村 武井仙石工門

工事請負人 土屋庄藏

## 西園寺公望別邸「坐漁荘」

(竣工時のものと考えられる)



裏

法量 縦928×幅217mm  
釘穴：あり

棟札 (尖頭型)

手置帆負命 八意思兼命  
彦狭知命 公爵 西園寺公望

大正九年五月九日

設計監者 則松幸十  
大工方 塩津与三郎  
石工方 手塚和七  
瓦工方 青木善吉  
建具方 青木傳次郎

## 東松家住宅



## 上棟式

明治三十四年五月二十日  
東松杏兵衛

頭梁 児玉利助  
日雇頭 鬼頭甚松

法量 縦485×幅110mm  
釘穴：なし

棟札 (尖頭型)

## 西園寺公望別邸「坐漁荘」



表

裏

法量 縦1,003×幅237mm  
釘穴：あり

棟札 (尖頭型)

## 上棟

手置帆負命 八意思兼命  
彦狭知命

設計監督者 則松幸十

大正八年二月十七日上棟

工事関係者 橋本源藏  
大工 塩津與三郎

## 呉服座



上棟 明治二十五年辰八月●拾日(建之)  
銅工方 望月瀧

法量 縦1,955×幅48mm

幣串

## 西園寺公望別邸「坐漁荘」



法量 縦1,817×幅38mm

幣串

棟梁 前川赤次郎 上棟式  
昭和四年 重陽日

今宵は明治のまちで楽しみましょう

# 宵の明治村

開催日/平成28年8月5日(土)、6日(日)、11日(金)~20日(日)、26日(土)、27日(日) ★21時まで延長開村!

浴衣なら男女ともに入村料500円  
★浴衣でご来村された方、各日先着100様に記念品をプレゼント!  
※一部エリアは17時まで  
※荒天時は延長開村中止の場合があります。  
※一部イベントの参加には、別途料金が必要です。

## 3丁目 NEW!

### 明治浪漫譚

meiji romantian

受付時間/17:00~20:00 ※イベントは20:30まで  
受付/北里研究所本館・医学館前  
料金/1人500円  
※ミッションの中には、お客様自身のカメラで撮影した画像を提示いただくものがあります。  
※小学生の方は中学生以上の保護者(有料)の方の同伴が必要です。  
※ご参加のお客様以外は3丁目にお入りいただけません。

## 宵街映写 ~プロジェクションナイト~ 2丁目



会場/札幌電話交換局  
時間/8月5日(土)~13日(日) ①19:40~ ②20:00~ ③20:20~  
8月14日(月)~27日(日) ①19:20~ ②19:40~ ③20:00~ ④20:20~  
協力/名古屋造形大学

## 明治お祭り広場

会場/2丁目「食道楽のカレーばん」の店横  
時間/16:00~20:30  
料金/1回200円~

## 4丁目

### 身の毛もよだつ!? シアトル日系福音教会 特別ガイド

たくさんの日本人が海外へと渡った明治時代。夢を抱いてアメリカに渡った当時の日本人の苦勞とその暮らしぶりをガイドでご案内! 宵の明治村限定のちょっと怖い?! 特別ガイドです!

会場/シアトル日系福音教会  
時間/①19:00~ ②19:30~ ③20:00~ (各回約20分)  
定員/各回10名様  
料金/200円

※当日11時より名古屋衛成病院にて整理券を配布します。



## マジックショウ

会場/呉服座 ※8/6(日)は休演  
時間/①17:30~ ②19:30~ (各回約30分)  
料金/1人300円  
出演/DAIKIほか  
※出演者は日によって異なります。

## 「最恐」怪談師決定戦 怪談王(東海地区予選)

開催日/8月6日(日)  
時間/①14:00~ ②17:00~ (各回約90分)  
会場/呉服座  
料金/無料  
主催/中日新聞社 東海ラジオ放送  
共催/博物館 明治村  
協力/名古屋鉄道(株)

## 宵の建物ガイド・スペシャル

昼間とは違った宵ならではの建物の表情をお楽しみいただけます。  
会場/東松家住宅、高田小熊写真館  
時間/15:00~18:30

## 5丁目



## 花火競演

会場/帝国ホテル中央玄関前芝生広場一帯  
時間/20:30~

## Dreaming JAZZナイト

会場/帝国ホテル中央玄関前芝生広場 特設ステージ  
※8/13(日)、17(木)は休演  
時間/①19:00~ ②20:00~

## 和太鼓公演

日時/8月13日(日)、17日(木)  
会場/帝国ホテル中央玄関前芝生広場 特設ステージ  
時間/①19:00~ ②20:00~  
出演/和太鼓 鹿輝

## 宵の占い体験館

会場/前橋監獄雑居房  
時間/16:00~20:30  
料金/1人1回1,000円  
占い師/東洋易学協議会、三元命運研究会、占いのオズ、名古屋占いカフェ  
※先着順に受付をいたします。  
※占い師、占いの種類は日によって異なります。

夏夜の雰囲気さらに恐怖を掻き立てる!  
あなたは最後まで耐えることができるか...!?

開催日/7/15(土)~8/31(木)は毎日開催 ※ただし休村日は除く  
7/8(土)・9(日)、9/2(土)・3(日)  
時間/10:30~16:30  
※先着順に受付をいたします。 ※イベントは17時に終了します。  
●「宵の明治村」開催日は11:00~20:30  
※イベントは21時に終了

受付/名古屋衛成病院  
定員/各日170組(1組4名まで)  
●「宵の明治村」開催日は270組まで  
料金/1人600円

## 「涼」を体感

噴水スポットで楽しもう!  
会場/食道楽のカフェ横芝生広場

水鉄砲であそぼ!  
期間/7月22日(土)~8月31日(木)

集まれ! 明治のあそびコーナー  
期日/7月22日(土)~8月26日(土)の毎週土曜日  
時間/13:00~17:00

### 夏の風物詩 村のかき 氷祭

期間/7月8日(土)~8月27日(日)  
※売り切れの際は、ご容赦願います。

「宵の明治村」開催日 限定5食  
盛夏- 1,500円  
(京甘味処 なか井茶寮)

白桃氷 600円  
(「食道楽のコロッケー」と「小倉ドッグ」の店)

食道楽のブデン氷 750円  
(「食道楽のカフェ」)

甘酒いちごのかき氷 680円  
(明治の洋食屋 オムライス&グリル 浪漫亭)

お問い合わせ先 <http://www.meijimura.com> または 0568-67-0314 ●イベントは期日は中止の可能性があります。

写真はイメージです。

## 音の標識

●3丁目30番地 菅島燈台附属官舎



写真1 霧砲

濃霧や降雪などで視界不良となり燈台の光が見えない時などに、音によつて陸や燈台の位置を知らせるものです。



写真2 霧鐘(アガ式ベルの一部)

## 明治の国産顕微鏡

●3丁目25番地 北里研究所本館・医学館



明治村内三丁目にある北里研究所本館・医学館階では、北里柴三郎が取り組んだ細菌学にちなみ、様々な顕微鏡を展示しています。オランダのレーヴェンフックによつて発明された顕微鏡の模型から、一九世紀以降にイギリスやドイツで製造された顕微鏡などがご覧いただけます。その中で今回ご紹介するのは、明治時代に国内で製造された顕微鏡です。

西洋では、十九世紀以降になると、細菌学が発達したことに伴い、顕微鏡の性能も飛躍的に進歩しました。日本にも明治二十(一八八七)年頃には、高性能な顕微鏡が輸入されるようになり、大

学や病院を中心に普及していきます。その後、日露戦争の勃発により顕微鏡輸入が途絶えたことなどを契機として、顕微鏡の国産化が模索されるようになりました。その結果、明治時代の終わりに、すでに複数の業者によつて顕微鏡が製造・販売されるようになり、そのひとつが「田中式顕微鏡」です(写真1)。

田中式顕微鏡は、明治二十五(一八九二)年に創業された田中合名会社(現在の田中科学機器製作株式会社)によつて製造・販売されました。同社の創業者であり初代社長の田中全次郎は、文久二(一八六二)年に大阪の薬種問屋に生まれ、上京して日本橋本町の理化学器械商で働き、貿易について学びながら、西洋から輸入された最新の理化学器械に触れていました。独立した当初は、これまで得た知識を活かして、科学機器の輸入販売をしながら、明治二十八(一八九五)

写真1 田中式顕微鏡

写真2 田中式顕微鏡の刻印

年には顕微鏡の試作にも取り組みはじめ、ついに明治四十(一九〇七)年に「田中式六百倍顕微鏡」が完成しました。当時発行されたと思われる同社のカタログによると、三種の顕微鏡が、それぞれ四十五円、三十円、二十五円で販売され、工場では月に百基の生産が可能であったと記されています。同社の顕微鏡は、明治四十(一九〇七)年の東京勲業博覧会で等賞牌、同四十三(一九一〇)年の日英博覧会で銀賞、大正三(一九一四)年の東京大正博覧会で銀牌を受けるなど、数々の博覧会で高い評価を得ます。また、同時期に販売されていた輸入顕微鏡に比べ安価であったことから、主に養蚕業者に購入され、蚕卵の検査などに用いられました。しかし、大正十二(一九一七)年の関東大震災に罹災したことで、顕微鏡製造からの撤退を余儀なくされ、田中式顕微鏡はその姿を消しました。ケース内に展示されている顕微鏡には、「MOSGI」というロットナンバーと、田中式顕微鏡であることを示す、「MTANAKA」という創業者の名が刻まれています(写真2)。詳細な製造年代は定かではありませんが、一九〇七、一九一三年にかけての、およそ十数年の間に製作されたものです。

写真3 エムカテラ顕微鏡

国産顕微鏡の嚆矢としては、大正三(一九一四)年の東京大正博覧会に出品された、「エムカテラ顕微鏡」(写真3)が広く知られています。一方、田中式顕微鏡は、製造された期間が短かったこともあり、数点しか現存が確認されていませんが、近年の報告により、その資料的価値が改めて評価されています。顕微鏡製造、さらには日本の科学や産業の発展にも寄与した田中式顕微鏡は、顕微鏡の国産化に取り組んだ人々の結晶です。

※田中科学機器製作株式会社相談役・下平武氏より田中合名会社の社史について、大阪大学医学部附属病院・井上了氏からは同社のカタログ資料等、貴重な情報をご教示いただきました。

注1 これらの顕微鏡は浜野太郎氏からの寄託資料です。

注2 江戸時代には、木製の顕微鏡が国内でも作られていますが、医者や研究者の要求に応じて職人によつて手作りされてきました。ここでいう国産化とは、工場などで大量生産されて安定的に供給される状態を指します。

注3 明治四十(一九〇七)年の東京の公立小学校教員の初任給が十三円、製造に際して資金援助をした松本福松の頭文字「M(エム)」、技師の加藤嘉吉の「カ」と寺田新太郎の「テラ」から名付けられたとされます。

注4 エムカテラ顕微鏡は、製造に際して資金援助を大阪大学の井上了氏が所蔵する田中式顕微鏡が、平成二十五(二〇一三)年に、一般社団法人日本分析機器工業会、および一般社団法人日本科学機器協会より、技術史上重要な資料として分析機器・科学機器遺産に認定されました。

注5 井上了「田中式顕微鏡について」日本分析機器工業会・日本科学機器協会「分析機器・科学機器遺産」認定申請資料(二〇一三)

田中新一「顕微鏡の歴史」九州文庫出版社一九七九

甲賀忠一編「物価の文化史事典」展望社二〇〇八

### 参考文献

井上了「田中式顕微鏡について」日本分析機器工業会・日本科学機器協会「分析機器・科学機器遺産」認定申請資料(二〇一三)

朝鮮半島付近の航路標識の配置図 大正10年5月改正 日本航路標識便覧表より転載

そのため、電気や磁石の力で音を鳴らす仕組みや、自動で霧の発生を感知するシステムが開発されるなど、改善がすすめられました。しかし、人工衛星によつて位置情報を取得するシステムの普及など新たな技術の台頭により、平成二十二(二〇一〇)年三月に国内ではすべての霧信号所が廃止されました。

この大砲は当初、日露戦争における激戦地のひとつである旅順で、武器として砲弾を発射する役目を担っていました。しかし戦後は、濃霧の中航行する船を安全に導き、人々の命を守る霧砲として第二の人生を送りました。見るからに物騒な大砲ですが、その担った役割の変遷を知った上で改めてご覧いただく、これまでとは異なる姿が見えてくるかもしれません。

注1 菅島燈台附属官舎内にはガスの方で鐘を鳴らした「アガ式自動打鳴霧鐘」の一部、四丁目四十四番地の鉄道新橋上場・機械館内には、明治四十四(一九一〇)年に北海道小樽港外の日和山に設置された霧笛に使用された「霧信号用蒸気機関」(写真5)が展示されています。

注2 大正二(一九一三)年八月二十日発行の官報、および大正十(一九二二)年、航路標識管理所発行の「日本航路標識便覧表」より。

参考文献 航路標識管理所「航路標識管理所年報 第五卷」一九一六 社団法人灯光会「写真でみる 灯台文化九十年」国光出版一九五六 長岡日出雄「日本の灯台」成山堂書店一九九三

写真4 発砲中の霧砲「写真でみる 灯台文化九十年」より転載



写真5 霧笛用蒸気機関

音の到達距離が風の向きや強さによつて安定しないこと、霧が出せうになると、管理する人間が始終監視を続ける必要があるなど、不便な点も多々ありました。